令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	現代の国語	学年	4　年	類型	共通	単位数	2　単位

教科書名	高等学校　現代の国語	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	思	主	授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
一学期	4	現代の国語1	「生きもの」として生きる	◎		○	授業の概要
			「本当の自分」幻想		◎	○	実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を養います。
	5	現代の国語2	水の東西	◎		○	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○		
	6		羅生門		◎	○	学習の到達目標
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○		・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
	7	話して伝える	論理的な表現		○	◎	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）					
二学期	9	現代の国語3	無彩の色	◎		○	評価の観点
			夢十夜		◎	○	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	10	中間考査（10/6～10/9）		◎	○		
		現代の国語4	現代の「世論操作」	◎		○	思考・判断・表現
	11		フェアな競争		◎	○	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○		主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
		書いて伝える	地域の魅力を紹介する		○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）					
三学期	1	現代の国語5	ロビンソン的人間と自然	◎		○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。
			城の崎にて		◎	○	
	2	学年末考査4・5年（2/22～2/28）		◎	○		
	3	話して伝える	スピーチで自分を伝える		○	◎	備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	言語文化	学年	4　年	類型	共通	単位数	2　単位

教科書名	高等学校　言語文化	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主	授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
一学期	4	古文入門	児のそら寝	◎		○	授業の概要 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めます。
	5	漢文入門	訓読に親しむ（一）（二）（三）	◎		○	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○		
	6	歌物語	伊勢物語　芥川他		◎	○	
		故事成語	狐借虎威		◎	○	学習の到達目標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
	7	期末考査（6/26～7/2）		◎	○		
		漢詩	唐詩の世界		○	◎	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）					
二学期	9	日記	土佐日記		◎	○	評価の観点 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
		史伝	先従隗始		◎	○	
	10	中間考査（10/6～10/9）		◎	○		
		史伝	臥薪嘗胆		◎	○	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	11	随筆（二）	徒然草		◎	○	
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○		主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
		古典の詩歌	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集		○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）					
三学期	1	思想	論語		◎	○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。
		軍記物語	平家物語		◎	○	
	2	学年末考査4・5年（2/22～2/28）		◎	○		
	3	近現代の詩歌	自分の感受性くらい　他		○	◎	備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	古典探究	学年	5　年	類型	文科系	単位数	3　単位

教科書名	高等学校　精選　古典探究	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主
一学期	4	説話（一）	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	○	◎	
			沙石集「歌ゆゑに命を失ふこと」	○	◎	
	5	故事・寓話	孫子「呉越同舟」	◎	○	
			韓非子「嬰逆鱗」		◎	○
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6	随筆（一）	徒然草「あだし野の露消ゆるときなく」	○	◎	
			方丈記「安元の大火」	○		◎
		古代の史話	十八史略「鶏鳴狗盗」		◎	○
	7	期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
		漢詩の鑑賞	中国の詩	◎	○	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期	9	古代の史話	十八史略「背水之陣」		◎	○
		物語（一）	伊勢物語「初冠」	○		◎
			伊勢物語「小野の雪」	○		◎
	10	中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
		項羽と劉邦	史記「鴻門之会」		◎	○
	11	物語（二）	源氏物語「光る君誕生」	○	◎	
			言語活動『源氏物語』と政治		○	◎
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
		物語（二）	源氏物語「若紫」	◎	○	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	日記（一）	更級日記「門出」		◎	○
		不思議な世界	聊斎志異「酒虫」	◎		○
	2	物語三	平家物語「忠度の都落ち」	○	◎	
		学年末考査4・5年（2/22～2/28）		◎	○	
	3	諸家の思想	荘子「曳尾於塗中」		○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	古典探究	学年	5　年	類型	理科系	単位数	3　単位

教科書名	高等学校　精選　古典探究	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主
一学期	4	説話（一）	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	○	◎	
			沙石集「歌ゆゑに命を失ふこと」	○	◎	
	5	故事・寓話	孫子「呉越同舟」	◎	○	
			韓非子「嬰逆鱗」		◎	○
		中間考査（5/19～5/22）				
	6	随筆（一）	徒然草「あだし野の露消ゆるときなく」	○	◎	
			方丈記「安元の大火」	○		◎
		古代の史話	十八史略「鶏鳴狗盗」		◎	○
		期末考査（6/26～7/2）				
	7	漢詩の鑑賞	中国の詩	◎	○	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期		古代の史話	十八史略「背水之陣」		◎	○
	9	物語（一）	伊勢物語「初冠」	○		◎
			伊勢物語「小野の雪」	○		◎
		中間考査（10/6～10/9）				
	10	項羽と劉邦	史記「鴻門之会」		◎	○
	11	物語（二）	源氏物語「光る君誕生」	○	◎	
			言語活動『源氏物語』と政治		○	◎
		期末考査（11/26～12/2）				
	12	物語（二）	源氏物語「若紫」	◎	○	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	日記（一）	更級日記「門出」		◎	○
		不思議な世界	聊斎志異「酒虫」	◎		○
	2	物語三	平家物語「忠度の都落ち」	○	◎	
		学年末考査4・5年（2/22～2/28）				
	3	諸家の思想	荘子「曳尾於塗中」		○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	文学国語	学年	5　年	類型	文科系	単位数	3　単位

教科書名	文学国語	出版社名	筑摩書房

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	思	主
一学期	4	ことばから広がる世界	プラスチックの膜を破って		◎	○
	5	物語との出会い	山月記	○	◎	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6	背後にあるメッセージ	実体の美と状況の美	○	◎	
		現実を揺さぶる想像力	異なり記念日		◎	○
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
	7	調べとリズム	短歌	○	◎	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期	9	調べとリズム	小景異情		◎	○
			永訣の朝		◎	○
		過去との対話	死者の声を運ぶ小舟	○	◎	
		中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
	10	自己と向き合う	こころ			
	11				◎	○
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
		調べとリズム	サーカス		◎	○
			死にたまふ母	○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	世界観を築く	未来をつくる言葉	◎	○	
		思考の道筋をたどる	化物の進化	○	◎	
	2	日常の裂け目	捨てない女		◎	○
		学年末考査4・5年（2/22～2/28）		◎	○	
	3	物語との出会い	神様		○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

近代以降の文学的文章と論理的文章をバランス良く学び、深く共感したり豊かに想像する力を伸ばすとともに、論理的、批判的な思考力と判断力を養い、自分の考えを筋密立てて伝えられる表現力を身に付けます。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
・生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	文学国語	学年	5　年	類型	文化系	単位数	2　単位

教科書名	文学国語	出版社名	筑摩書房

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	思	主
一学期	4	ことばから広がる世界	プラスチックの膜を破って		◎	○
	5	物語との出会い	山月記	○	◎	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6	背後にあるメッセージ	実体の美と状況の美	○	◎	
		現実を揺さぶる想像力	異なり記念日		◎	○
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
	7	調べとリズム	短歌	○	◎	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期		調べとリズム	小景異情		◎	○
	9		永訣の朝		◎	○
		過去との対話	死者の声を運ぶ小舟	○	◎	
		中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
	10	自己と向き合う	こころ			
	11				◎	○
		期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
	12	調べとリズム	サーカス		◎	○
			死にたまふ母	○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	世界観を築く	未来をつくる言葉	◎	○	
		思考の道筋をたどる	化物の進化	○	◎	
	2	日常の裂け目	捨てない女		◎	○
		学年末考査4・5年（2/22～2/28）		◎	○	
	3	物語との出会い	神様		○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

近代以降の文学的文章と論理的文章をバランス良く学び、深く共感したり豊かに想像する力を伸ばすとともに、論理的、批判的な思考力と判断力を養い、自分の考えを筋密立てて伝えられる表現力を身に付けます。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
・生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	古典探究	学年	6　年	類型	文科系	単位数	2　単位

教科書名	高等学校　精選　古典探究	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主
一学期	4	説話（二）	発心集「叡実、路頭の病者を憐れむ事」	○	◎	
		逸話	説苑「不顧後患」		◎	○
	5		列子「不死之道」	○	◎	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6	随筆（三）	枕草子「宮に初めて参りたるころ」	○		◎
		漢詩の鑑賞	古体の詩	○	◎	
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
	7		言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』		◎	○
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期	9	諸家の文章	売柑者言		◎	○
		評論（一）	俊頼髄脳「歌のよしあし」	○	◎	
	10	中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
		史記の群像	「管鮑之交」「荊軻」		◎	○
	11	物語（五）	大鏡「三舟の才」	○	◎	
			言語活動　菅原道真の左遷の真相		○	◎
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
		評論（二）	玉勝間「兼好法師が詞のあげつらひ」	◎	○	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	日記（二）	とはずがたり「秘密の出産」	○	◎	
		物語（六）	堤中納言物語「はいづみ」	○		◎
	2		家庭学習	○	○	◎
				○	○	◎
				○	○	◎
				○	○	◎
	3					

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	古典探究	学年	6　年	類型	理科系	単位数	2　単位

教科書名	高等学校　精選　古典探究	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	思	主	授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
一学期	4	説話（二）	発心集「叡実、路頭の病者を憐れむ事」	○	◎		授業の概要
		逸話	説苑「不顧後患」		◎	○	古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。
	5		列子「不死之道」	○	◎		
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○		
	6	随筆（三）	枕草子「宮に初めて参りたるころ」	○		◎	
		漢詩の鑑賞	古体の詩	○	◎		学習の到達目標
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○		・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。
	7		言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』		◎	○	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）					
二学期	9	諸家の文章	売柑者言		◎	○	評価の観点
		評論（一）	俊頼髄脳「歌のよしあし」	○	◎		知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
		中間考査（10/6～10/9）		◎	○		
	10	史記の群像	「管鮑之交」「荊軻」		◎	○	思考・判断・表現
	11	物語（五）	大鏡「三舟の才」	○	◎		「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
			言語活動　菅原道真の左遷の真相		○	◎	
		期末考査（11/26～12/2）		◎	○		主体的に学習に取り組む態度
	12	評論（二）	玉勝間「兼好法師が詞のあげつらひ」	◎	○		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）					
三学期	1	日記（二）	とはずがたり「秘密の出産」	○	◎		評価方法
		物語（六）	堤中納言物語「はいづみ」	○		◎	学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
	2		家庭学習	○	○	◎	
				○	○	◎	
				○	○	◎	
				○	○	◎	備考
	3						

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	文学国語	学年	6　年	類型	文科系	単位数	2　単位

教科書名	高等学校　文学国語	出版社名	第一学習社

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	思	主
一学期	4	現代の小説（二）	棒	○	◎	
	5	中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6		骰子の七の目	○	◎	
	7	期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
		現代の詩	足と心	○		◎
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期	9	戦争と文学（二）	夏の花	○	◎	
	10	中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
		随想（二）〈創作〉	わからないからおもしろい		○	◎
	11		もしも、詩があったら		○	◎
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
		近代の小説（二）	舞姫	○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1		舞姫	○	◎	
	2		家庭学習	○	○	◎
				○	○	◎
				○	○	◎
	3			○	○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

近代以降の文学的な文章、たとえば、小説、詩、随想等の作品に取り組むことで、深く共感したり豊かに想像する力や、創造的に考える力を伸ばします。

学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。

評価の観点

知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	論理国語	学年	6　年	類型	文科系	単位数	2　単位

教科書名	精選　論理国語	出版社名	三省堂

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主	授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
一学期	4	一 「情報社会」を生きるⅡ	情報ネットワーク社会を生きる		◎	○	授業の概要
	5		流言とメディア	○	◎		近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○		
	6	二 言葉を見つめるⅡ	「対話」の言葉を作る		◎	○	
		三 共存社会を創造する	講演　持続可能な福祉社会への道	○	◎		学習の到達目標
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○		・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。
	7	三 共存社会を創造する	母親のための酸素マスク		○	◎	
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）					
二学期	9	四 経済について考える	「欲望」と資本主義	○	◎		評価の観点
		五 国際社会を考える	スポーツとナショナリズム		◎	○	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
		中間考査（10/6～10/9）		◎	○		
	10		南の貧困／北の貧困		◎	○	思考・判断・表現
	11	六 心と向き合う	恐怖とは何か	○	◎		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		七 「リスク社会」を生きる	リスク社会論	○	◎		
	12	期末考査（11/26～12/2）		◎	○		主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
			学びを広げる 「リスク社会」について考察する		○	◎	
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）					
三学期	1	八 近代・現代社会を考える	コンクリートの時代		◎	○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			学問のすすめ	○	◎		
	2		家庭学習	○	○	◎	
				○	○	◎	
				○	○	◎	
				○	○	◎	備考
	3						

令和8年度

シ　ラ　バ　ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校（後期課程用）

教科	国語	科目	論理国語	学年	6　年	類型	理科系	単位数	2　単位

教科書名	精選　論理国語	出版社名	三省堂

学期	月	指導計画 単元	指導計画 内容	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 主
一学期	4	一 「情報社会」を生きるⅡ	情報ネットワーク社会を生きる		◎	○
	5		流言とメディア	○	◎	
		中間考査（5/19～5/22）		◎	○	
	6	二 言葉を見つめるⅡ	「対話」の言葉を作る		◎	○
		三 共存社会を創造する	講演　持続可能な福祉社会への道	○	◎	
		期末考査（6/26～7/2）		◎	○	
	7	三 共存社会を創造する	母親のための酸素マスク		○	◎
夏季	8	夏季休業日（7/18～8/26）				
二学期	9	四 経済について考える	「欲望」と資本主義	○	◎	
		五 国際社会を考える	スポーツとナショナリズム		◎	○
		中間考査（10/6～10/9）		◎	○	
	10		南の貧困／北の貧困		◎	○
	11	六 心と向き合う	恐怖とは何か	○	◎	
		七 「リスク社会」を生きる	リスク社会論	○	◎	
		期末考査（11/26～12/2）		◎	○	
	12		学びを広げる 「リスク社会」について考察する		○	◎
冬季		冬季休業日（12/19～1/7）				
三学期	1	八 近代・現代社会を考える	コンクリートの時代		◎	○
			学問のすすめ	○	◎	
	2		家庭学習	○	○	◎
				○	○	◎
				○	○	◎
	3			○	○	◎

授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等

授業の概要

近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。

学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。

評価の観点

知識・技能

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

思考・判断・表現

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価方法

学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組（出席、態度、行動の様子）」、「定期考査」、「課題提出状況（週末課題、長期休業課題、授業ノート）」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

備考